

都市の緑3表彰

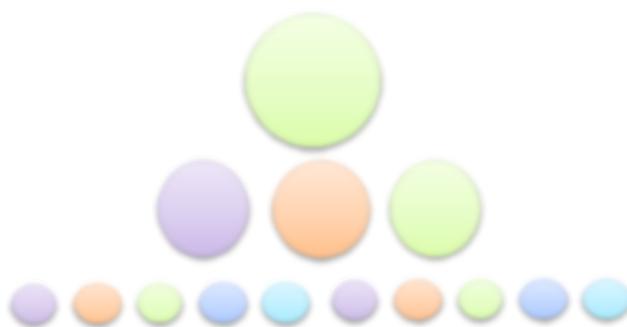
緑の環境プラン大賞

第一生命賞 特別企画

『The Garden of Life』部門

応募要綱

(2026年度)



主催 公益財団法人都市緑化機構／一般財団法人第一生命財団
公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

『The Garden of Life』の趣旨

公益財団法人都市緑化機構および第一生命保険株式会社は、緑豊かな都市環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等に役立つことを願い、1990年に「緑のデザイン賞」を創設しました。この年、国内では初めてとなる「花と緑の万博」が大阪で開催され、博覧会の理念を継承することも本賞の創設の契機となっています。

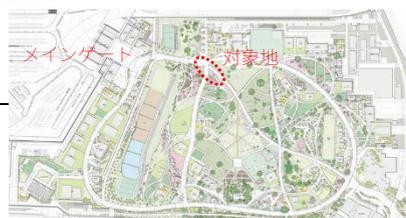
その後、30年余りの時を経て、2027年（令和9年）に神奈川県横浜市において『GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）』が開催されることを記念し、本博覧会会場において、『The Garden of Life』をテーマに、生命のにわを表現する作品を募集します。2027年は第一生命の創立125周年にあたることから、例年実施しているシンボル・ガーデン部門「第一生命賞」の特別企画として、本募集を実施いたします。

募集プランの対象地

今回募集するプランの対象地は、横浜市の旭区・瀬谷区に跨る約80haの広大な敷地の2027年国際園芸博覧会（以下、「博覧会」という。）会場の正面エントランスから各ゾーンへと導かれる主要な動線上に位置し、大きな期待を抱いて訪れる世界各国からの来場者に対し、最初の感動を届ける大きな役割を担う空間となります。

（幹線園路の両側にある築山部分 合計約250㎡

≪長さ約90m×幅約2.5～3m≫



博覧会会場図（対象地周辺）

※本図は計画段階の資料です。平面図と異なる箇所は、すべて平面図を優先するものとします。

プランのテーマについて

募集のテーマは、『The Garden of Life』です。

第一生命は、2027年に創立125周年を迎えます。これまで、「一生涯のパートナー」として多くの人々の人生に寄り添い、一人ひとりの幸せを支える存在でありたいと願い続けてきました。

そして、これからも共に歩み、未来をひらく存在として、多様な幸せと希望に満ちた、サステナブルな社会の実現を目指してまいります。

『The Garden of Life』

それは、生命の営みだけでなく、人生や日々の暮らしといった広い意味での“Life”を育む緑の空間です。人は緑に守られながら、生命を育み、つないできました。

緑は、私たちのかけがえのないパートナーです。植物が生き生きと芽吹き生長する、生命の輝きを感じられるガーデンを、多くの人々がつながり共に創り上げていく。

そこから生まれる、新たな可能性と幸せに満ちた美しい風景をご提案ください。

応募にあたっての4つのポイント

① 多様な主体が協力しあう共創によるガーデンづくり

申請者は、市民、企業・団体、学校などを含みプロフェッショナルやアマチュアを問わず、デザイン、制作、維持管理など各プロセスを分担するなど、できる限り多くの人々が協力・協働できる応募形式を推奨いたします。

② 多くの来場者が訪れる、非常に好立地な場所での作品空間

対象地は、メインガーデンの入口から端まで約90メートルにわたる園路の両側を飾るものであり、博覧会来場者の期待と高揚感をより一層高めるご提案を期待しております。

③ 展示期間は2027年3月から9月までの約6カ月間

博覧会の開催期間は約6ヶ月間にわたるため、制作されたガーデンが良好な状態を維持するための補植や植替えなどのメンテナンスの方針と計画をお示しいただく必要があります。（博覧会閉幕時には、展示も終了となります）

④ 受賞したプランには、上限2,500万円を助成

助成金は、プランを実現するための植栽費や資材費、制作費、その後の維持管理費（灌水などの日常管理を除く）、包括賠償責任保険等への加入費用、撤去費用等としてお使いいただけます。

審査のポイント

- 【**テーマの表現力**】 博覧会のテーマ「幸せを創る明日の風景」を尊重するとともに、本企画のテーマ「The Garden of Life」に沿って、創意工夫が施された魅力的なプランであるか。
- 【**造園技術の高さ**】 対象地において優れたデザインになっているか。制作・施工や維持管理における造園技術の高さを示す実績があるか。
- 【**環境への寄与**】 緑の環境プラン大賞の募集趣旨や博覧会の開催理念に掲げる環境の保全・再生に寄与するプランであるか。
- 【**維持管理**】 展示期間中の維持管理の体制・方法が明確になっているか。
- 【**プレゼンテーション**】 世界の GREEN×EXPO 2027 のメインアプローチにふさわしい意欲やプランに対する情熱が感じられるか。
- 【**共創の視点**】 多様な主体が協力・協同で創り上げるプランとなっているか。

応募規定

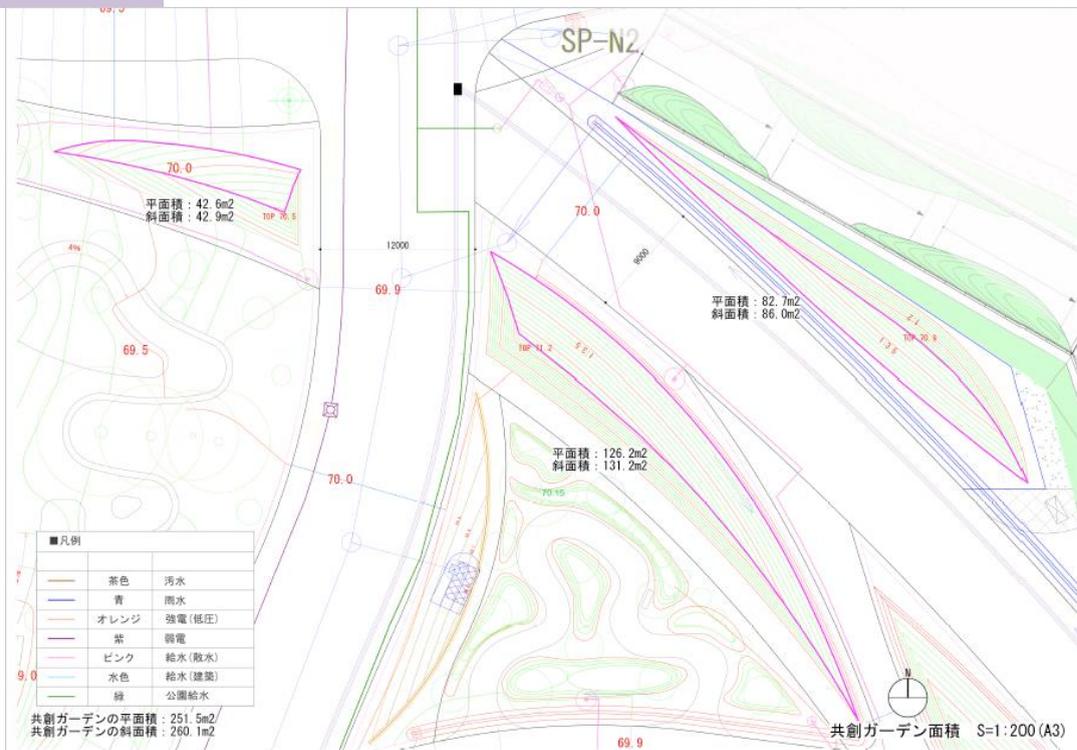
応募資格

- 市民、企業・団体、学校などを含むプロ・アマ、国籍を問いません。ガーデニングや造園に限らず、芸術、文学、空間デザインなど幅広い分野からの応募を募ります。
- デザインから制作・施工、博覧会開催期間中（6カ月間）の維持管理、閉幕後の撤去まで、自ら実施できる体制でチームを組み、応募をお願いします。
- 応募できるプランは、1応募者につき1作品までとします。

募集期間

2026年4月1日（水）～ 6月30日（火）当日消印有効

プラン対象地



↑敷地平面図

- 対象地は、ピンク枠で示している3か所（計約250㎡）です。メインガーデンの入口から端までに配置された築山の園路側法面の緑化プランを募集します。対象地以外は（公社）2027年国際園芸博覧会協会（以下、「博覧会協会」という。）が張芝を行います。
- 今回募集するプランでは、既存の園路から観賞することを基本としています。対象地へ立ち入る動線を新たに設置することはできません。
- 対象地内には築山があります。築山を活かすプランをご提案ください。



↑築山部分の写真

助成金の使途について

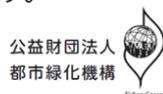
- 助成金は、プランを実現するための植栽費や資材費、制作費、その後の維持管理費（灌水などの日常管理を除く）、受賞プレートの制作設置費、包括賠償責任保険の加入費用（10万円程度を見込む）、撤去費用などにお使いいただけます。上限2,500万円としてご申請ください。
- 受賞の記念として、また募集の趣旨・テーマを博覧会来場者に広く周知するために、対象地内へ受賞者自身によるプレートの制作・設置をお願いしております。視認性があり（サイズ：450mm×350mm以上）、下図「プレートに盛り込んで頂く内容」に沿った記載内容のプレートを設置していただきます。プレートの素材に制限はありませんので、プランの世界観にふさわしいものをご採用ください。
- プレートの制作・設置にかかる費用（見積）は助成要望金額に計上いただけます。
- なお、制作・設置にあたっては、受賞決定後、プレートの仕様（デザイン・大きさ）や設置場所について、主催者と協議の上、実施していただきます。

第37回 緑の環境プラン大賞 シンボル・ガーデン部門 第一生命賞「The Garden of life」

受賞組織名 ●●●●

「緑の環境プラン大賞」は、緑豊かな環境づくりと地域コミュニティの創出を図る優れたプランを応援するものです。

本ガーデンは「The Garden of life」をテーマに、多様な人々がつながり共に創り上げることで、生命の輝きと新たな可能性に満ちた風景を来場者へお届けしています。



一般財団法人
第一生命財団



GREEN×EXPO協会

↑プレートに盛り込んで頂く内容

(版下原稿の確認・調整後、博覧会協会の許諾を得てからご制作いただきます。)

安全確保を最優先とすること

- 来園者が安心して通行・鑑賞できるよう、園路上および園路周辺の視認性・通行性を損なわないデザインとしてください。また、植栽・構造物が歩行者や管理車両の動線を妨げたり、危険を生じさせたりしないよう十分に配慮してください。

デザインについて

- 博覧会協会の著作物（国際園芸博覧会公式マスコットキャラクター等）を使用したデザインで制作する場合は、博覧会協会による監修が別途必要となります。

使用できる植物について

- 植栽は草本類・花卉類を基本としますが、斜面部分での中低木の植栽は可能です。
- 絶滅危惧種（IUCN（国際自然保護連合）レッドリストにおいて「CR（深刻な危機）、EN（危機）、VU（危急）」に該当するもの）を使用することはできません。
- 外来種の使用には規制があります。配布資料内の「⑥参考資料1：外来種に対する規制リスト」をご参照ください。

施設や構造物の設置について

- 斜面部分での構造物の設置は可能です。ただし、倒伏防止措置を行ってください。
- プランのテーマを表現するモニュメント等を対象地内に固定した形で設置することは可能です。
- 対象地に隣接する園路は車両動線となるため、園路上方へ被る構造物を設置することはできません。

給水・電気等の設備について

- 散水栓は、築山の付近（3か所）にあります。配布資料内の「③平面図、インフラ配置図」をご参照ください。

（※今後散水栓の位置が変更になる場合があります。受賞者決定後、博覧会協会より詳細についてご説明いたします。）

- 対象地内への電源の引き込みはありません。
- 夜間照明については、博覧会協会が照明を設置する予定です。なお、受賞者自身で、系統電源を使用しない演出用照明（太陽光パネル・蓄電池等を動力源とするもの）を別途、設置することも可能です。

周囲との調和について

- 博覧会では、「幸せを創る明日の風景」をメインテーマとして、配布資料内の「⑦参考資料2：2027年国際園芸博覧会 会場計画の概要」に基づいた、会場整備が行われています。応募の際には、博覧会のメインテーマや会場計画、周辺景観との調和に配慮したプランをご提案ください。
- 対象地北東部の隣接地には、大成建設グループによる大型木製テラス「TAISEI GREEN TERRACE（仮称）」が設置される予定（2026年4月1日現在）です。
詳細はこちらをご覧ください。（<https://greenexpo2027.taisei.co.jp/>）
- 現地説明会にて、対象地の様子をご覧いただけます。（詳細は本要綱P.13をご覧ください）
- 隣接するガーデン等の最新情報については、博覧会協会より公開後、（公財）都市緑化機構ホームページ（<https://urbangreen.or.jp/info-others/the-garden-of-life>）にて随時掲載いたします。

土壌について

- 対象地の基礎整備（築山の造成、事前の草刈り）は博覧会協会で行います。
- 土地の引き渡し後、根切り等は受賞者自身で行ってください。
- 引き渡し時の土壌構成は、黒土を充填しています。

工事について

受賞者は博覧会協会と調整を行い、施工を実施してください。

- 工事は2026年11月～2027年3月9日までの平日8時～17時に行ってください。
- 搬出入は4 t車以下、重機等の使用は可能ですが、別途ご相談ください。

- 工事は2027年3月9日までに完了させてください。
- 博覧会閉幕後、2027年12月10日までに撤去を完了させ、引き渡し時の状態に原状復帰してください。
- 受賞者自らにより使用した植物の移植や資材等を持ち帰っていただくことはできません。
- SNS等を用いた、工事現場の情報公開は不可とさせていただきます。

その他、詳しい施工ルールについては受賞プラン決定後、受賞者に通知いたします。

維持管理作業について

- 展示期間（2027年3月19日～2027年9月26日）中、受賞者自身でメンテナンスを行い、ガーデンを良好な状態に保ってください。
- 日常の灌水（手捲き）は博覧会協会にて行います。
- 原則、応募書類「③維持管理計画」の内容に沿って、花がら摘みや植え替え、補修などの維持管理は、受賞者ご自身で行っていただきます。
- 軽微な維持管理作業（花がら摘みや補植）については、開園時間中（9：30～21：30）に行うことができます。車両や重機を伴う作業については、開園時間外に実施してください。
- 維持管理作業のための博覧会会場への入場にあたっては、関係者用入場証の発行を検討しています。
- 害虫駆除は、公衆に危険を及ぼさないようにするとともに、物理的または生物学的方法を優先してください。使用できる農薬及び肥料は、日本国の関係法令に基づき登録、届出もしくは許可された製品とし、その使用条件を遵守してください。ただし、除草剤、ネオニコチノイド系農薬及び魚毒性の強い農薬は会場内で使用できません。

その他、詳しいルールや維持管理作業のための入場手続きについては受賞プラン決定後、受賞者に通知いたします。

会期中の来園者向けプログラムについて

- 来場者向けのガーデンの解説や体験プログラム、広報活動等は実施可能です。
(営業活動は不可)
- 内容や実施日程は受賞後、個別にご相談ください。

保険について

- 博覧会会場でのガーデンの制作・展示にあたり、万が一の事故等に備え、受賞者には博覧会協会が定める包括賠償責任保険（施設賠償責任補償）に加入していただきます。加入費用の10万円程度（見込み）を助成要望金額に含めて申請してください。
- 対象敷地内に構造物等を設置する場合、必要に応じて、財物保険（火災保険・動産保険等）に加入してください。保険の加入費用は助成要望金額に含めて申請してください。

« 受賞者と博覧会協会の作業区分 »

項目		受賞者	博覧会協会
設計		○	
工事	対象地の基盤整備(築山造成、対象地以外の張芝)		○
	施工(材料調達を含む)	○	
	受賞プレートの作成・設置	○	
維持管理	出展作品の維持管理（植え替え、灌水、施肥、剪定、清掃、花がら摘み、病虫害防除等）	○	
	日常の軽微（定型的）な灌水作業		○
	一般的な会場管理(巡視点検等)		○
	ごみの処分	○	
撤去	対象地の原状復旧および処分	○	

出展内容に関する要件

出展内容については、以下のいずれかに該当しない内容とします。

- ・法令や公序良俗に反するおそれがあるもの
- ・危険もしくは有害であるもの又は非衛生的であるもの
- ・GREEN×EXPO 2027の品位を傷つけ、又は正しい理解の妨げとなるもの
- ・不当な利益を上げることが目的とするもの
- ・特定の宗教の布教活動を目的とするもの

考慮頂きたい事項について

下記の事項について、ご考慮いただきますようお願いいたします。

● 「サステナビリティ」関係

GREEN×EXPO 2027では、テーマ「幸せを創る明日の風景」等を踏まえ、生物多様性や気候変動対策等の取組を発信し、サステナブルな社会の実現に貢献することを目指しています。具体的には、GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向け、再生可能エネルギー100%の電気の調達や省エネの推進、カーボンオフセット等の取組により、本博覧会の脱炭素化を推進します。また、既存の自然環境や生物多様性を保全・活用し、グリーンインフラを基軸とした会場計画を推進するとともに、ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向け、GREEN×EXPO 2027を通じて取組を発信します。さらに、本博覧会における仮設建築物は、環境に配慮された「GREEN サーキュラー建築」とします。GREEN×EXPO2027の理念を踏まえ、持続可能性の確保に向けた取り組みをお願いします。

- ・「サステナビリティに関する取組み」について、ご確認ください。

<https://expo2027yokohama.or.jp/about/sustainability/>

- ・廃棄の最小化や容器・包装等については、「資源循環の考え方」を遵守してください。

https://expo2027yokohama.or.jp/wp-content/uploads/2025/03/31_Resource_Circulation_Policy_20250317.pdf

- 「アクセシビリティ」関係

GREEN×EXPO 2027では、国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無等にかかわらず、訪れる全ての人々が安全・快適に過ごすことができるよう配慮した計画・整備を行うこととしています。このため、ご出展いただく際には、GREEN×EXPO 2027の理念を踏まえ、アクセシビリティに配慮していただくようお願いします。

※アクセシビリティの検討状況については、協会ホームページをご参照ください。

<https://expo2027yokohama.or.jp/about/accessibility/>

- 各種法令・規則等の遵守

出展者は、出展等の際し、日本の法律、神奈川県及び横浜市の条例並びに関係法規を遵守しなければなりません。また、GREEN×EXPO 2027のサステナビリティ戦略等を尊重するとともに、GREEN×EXPO 2027の一般規則及び特別規則並びに参加ガイドライン（今後順次公表予定）、アクセシビリティガイドライン、持続可能性に配慮した調達コード等を遵守する必要があります。

- アクセシビリティに関する取組

<https://expo2027yokohama.or.jp/about/accessibility/>

- 持続可能性に配慮した調達コード

https://expo2027yokohama.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/02_sus_code_20240118_2.pdf

その他

- 受賞決定後、受賞者は博覧会協会との間で、対象地でのガーデンの制作・施工、維持管理等に関する契約を直接締結するものとします。
- 審査の過程において、審査会に対し応募プランの説明（プレゼンテーション）を求める場合があります。実施の場合は、詳細を該当者に通知いたします。
- 本プログラムに関するお問合せや質問事項は、（公財）都市緑化機構ホームページにて随時公開いたします。

現地説明会について

開催日時：2026年4月24日（金）14:00～16:00（雨天決行）

集合場所：相鉄線「瀬谷駅」14：00集合

定員：30名

「The Garden of Life」の実際の対象地へご案内し、周辺環境の情報についてご説明します。

※定員に限りがあるため、1応募団体につき3名以内でのお申込みをお願いします。

なお、定員を上回るお申込みがあった場合には、同一団体からの参加者数を調整させていただく場合がございます。

お申込みはこちら↓から（締切：定員に達し次第締切）

URL：<https://forms.gle/hWSDfHo4M3ZSdeJx9>

配布書類一覧

(1)応募要綱・応募用紙は(公財)都市緑化機構のホームページからダウンロードできます。

応募要綱・応募用紙一覧
『The Garden of Life』部門 応募要綱 (PDFデータ)
『The Garden of Life』部門 応募用紙 (Wordデータ、PDFデータ)
応募団体情報シート (Excelデータ)

(2) 図面・参考資料のうち、①～⑥については、(公財)都市緑化機構のホームページからダウンロードできます。(⑦参考資料3：現場写真は希望者に配布いたします。配布を希望される方は、P.15の問い合わせ先へメールにてお申し込みください。)

図面・参考資料一覧
① 会場全体平面図 (JPGデータ)
② 位置図 (JPGデータ)
③ 平面図、インフラ配置図 (PDFデータ、全2ページ)
④ 断面図、断面位置図 (PDFデータ、全2ページ)
⑤ 参考資料1：外来種規制リスト
⑥ 参考資料2：2027年国際園芸博覧会 会場計画の概要
⑦ 参考資料3：現場写真

※図面中における「共創ガーデン」は、本企画の「プラン対象地」と同義です。

応募書類

6点のデータを収めたCD(①はMS word ファイル、②～⑤は PowerPoint ファイルもしくは PDF ファイル、⑥は Excel ファイルをご提出ください)と、カラー印刷した応募書類一式を、以下の宛先に送付して下さい。(※2026年6月30日当日消印)

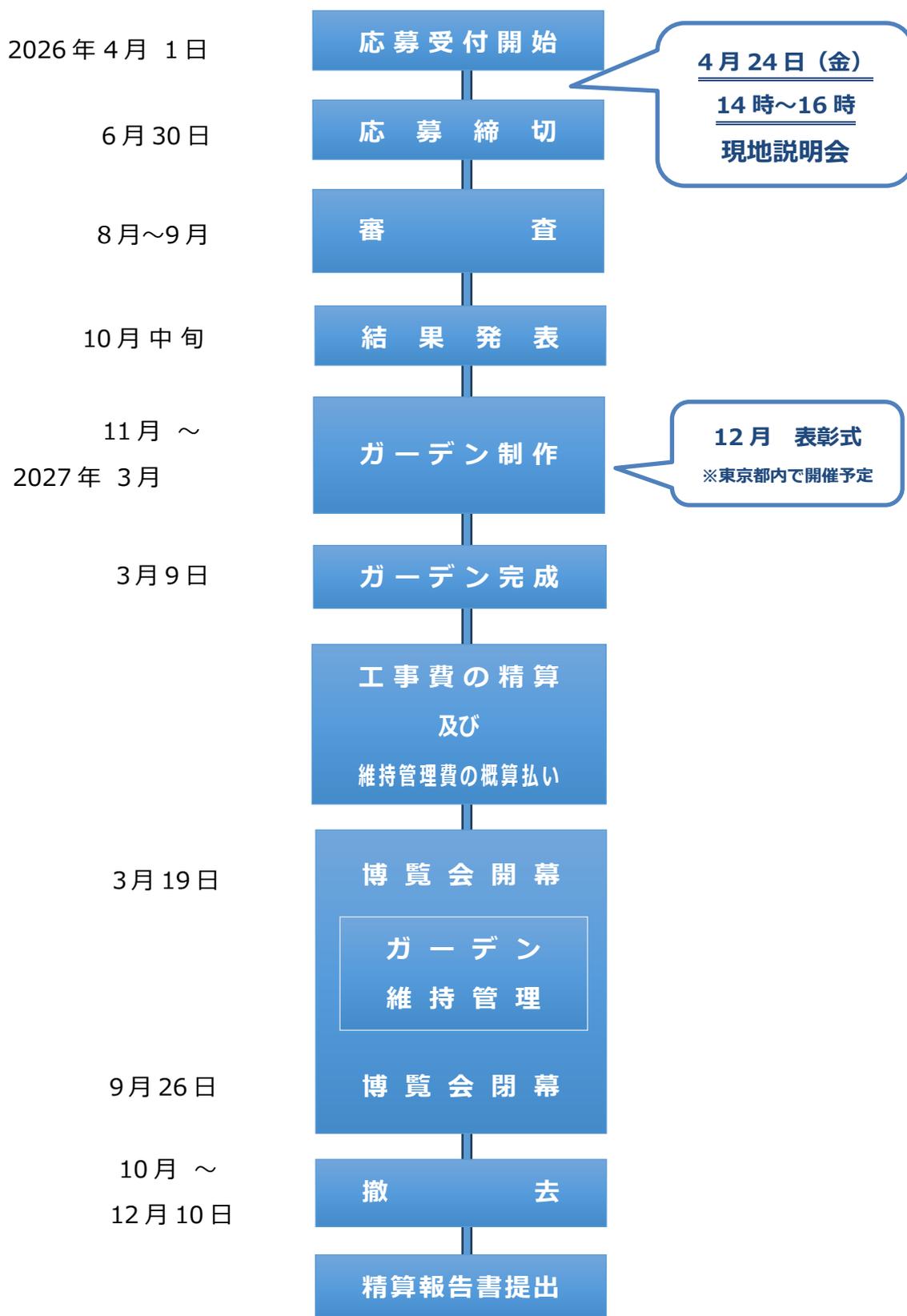
【問合せ先】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4田村ビル2階
(公財)都市緑化機構 TEL : 03-5216-7191 FAX : 03-5216-7195
E-mail: midorinowa@urbangreen.or.jp

① 応募用紙 (Word ファイル A4×5 枚、所定の書式) 応募団体の情報、役割分担、プランの趣旨、助成要望内訳等を所定の様式に記入してください。
② 『The Garden of Life』部門 プレゼンシート (A3×2 枚以内、書式自由) 設計趣旨や図面、イメージパース等を用い、プランの全体像を表現する提案書を作成してください。 【必須事項】設計趣旨、平面図、断面図、イメージパース ※適宜、立面図や模型写真等も用いて自由に表現してください。
③ 維持管理計画 (A4×1 枚、書式自由) 展示期間中の維持管理の体制・方法・頻度や工夫等がわかる資料を作成してください。フロー図、工程表、写真等を使用して分かりやすく構成してください。
④ イメージパース (A3×1 枚、書式自由) ② プレゼンシートに掲載したイメージパースの中から、 <u>メインとなるパース 1 点を添付</u> してください。
⑤ 図面 (A3×2 枚以内、書式自由) ② プレゼンシートに掲載した平面図、断面図を添付してください。 図面には <u>方位、スケール(縮尺)、凡例、使用予定の植物リスト</u> を必ず記載してください。
⑥ 応募団体情報シート (Excel ファイル、A4 所定の書式) 応募団体の構成員に関する情報を記入してください。

« 注意事項 »

- ・図面は着色のうえ、方位・スケール(縮尺)・凡例(樹種・施設名)を必ず入れてください。
- ・イメージパース等の図面は実現可能なものとしてください。受賞決定後、プレスリリース資料等に使用する場合があります。
- ・応募資料は返却いたしませんので、お手元に控えをお残してください。

スケジュール



その他の事項

応募、助成を行うにあたり、この「応募要綱」、別紙「助成要綱」に定めがないもの、および疑義が生じた場合には、主催者と応募団体が別途協議して定めるものとします。

なお、以下の場合には受賞の取消、助成の中止、助成金の返還を求める場合があります。

- ・ 応募内容が応募・助成要件を満たさなくなったとき
- ・ 応募内容が事実と異なっていた場合
- ・ 応募団体が反社会的勢力・または反社会的勢力と関係を有していると判断されたとき 等

【個人情報の利用目的について】

公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団、第一生命保険株式会社、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会は、応募に際し入手した情報について以下を目的として利用します。

- ・ 審査に関わる問合せ、審査結果の通知、事務連絡
- ・ 応募内容に関する照会
- ・ 当賞の広報活動（新聞、雑誌、ホームページ、SNS等への掲載）
- ・ 暴力団排除条例遵守のための確認
- ・ その他当賞に関する業務・運営管理

都市の緑3表彰

緑の環境プラン大賞

第一生命賞 特別企画

『The Garden of Life』部門

助成要綱

(2026年度)

主催 公益財団法人都市緑化機構／一般財団法人第一生命財団
公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

この要綱は、第37回緑の環境プラン大賞において、審査会で受賞および緑化助成が決定した作品について、受賞以降の手続きについて定めたものです。

The Garden of Life 部門

【問合せ先】 〒101-0051東京都千代田区神田神保町3-2-4田村ビル2階
(公財)都市緑化機構 TEL : 03-5216-7191 FAX : 03-5216-7195
E-mail: midorinowa@urbangreen.or.jp
URL: <https://urbangreen.or.jp>

緑化助成の要件

- (1) 助成を受けるプランは、受賞決定内容と相違がないこと。
- (2) 緑化助成工事・施設や設備の整備及び展示期間中の維持管理に要する金額は、工事費・維持管理費・プレートの設置費用、撤去費用、それにかかる消費税を含め、助成決定内示額（緑化助成の流れ②参照）を超えないこと。

設計図書等の提出

受賞者は、受賞決定通知を受領後、以下の資料を提出して下さい。

- (1) 工事費・維持管理費見積書 積算内訳、諸経費を明示したもの、または、工事請負契約書の写し
- (2) 植栽平面図 プラン平面図で工事の指示ができない場合
- (3) 植栽詳細図 支柱等、特に図面で明示する必要がある場合
- (4) 施設等詳細図 植栽以外の施設等が助成対象に含まれる場合
- (5) 工事仕様書 特に、施工上の指示が必要な場合
- (6) 工事工程書・維持管理計画書 工事開始～工事完了、会期中の維持管理の工程を詳細に示したもの
- (7) 受賞プレートの仕様書 受賞プレートの原稿・サイズ等の仕様、設置位置を示したもの
- (8) その他 受賞者、または(公財)都市緑化機構が必要と判断する資料

緑化助成対象の調整

前記「工事見積書」等の内容を確認したうえで、必要に応じて緑化助成範囲調整のための協議を行う場合があります。

緑化助成の規模・範囲

緑化助成の規模・範囲は次のとおりとします。

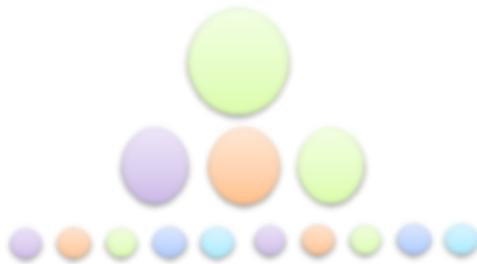
- (1) 緑化助成は、植栽を主体とする。植栽以外のものとしては、プレート設置のほか、モニュメント、ベンチ、および花壇などの修景施設等の最小範囲内のものに限る。
- (2) 緑化助成した植栽等については、受賞者が維持管理を含め十分な手当を行い、枯損・破損が発生しないよう努める。
- (3) 工事及び維持管理の過程で新たな費用が発生した場合には、その費用負担は受賞者等によるものとする。

緑化助成の流れ

- ① 受賞者は、受賞決定通知を受領後、設計図書等の作成を行い、設計金額とあわせて(公財)都市緑化機構へ提出する。(公財)都市緑化機構は、受賞決定プランと変更のないことを確認し、(公社)2027年国際園芸博覧会協会に提出する。
※変更がなされている場合、内容によっては緑化助成の中止を行うこともあるので十分注意をして下さい。
- ② (公財)都市緑化機構は、①を実施後、助成金額の内示を行う(内示額には、受賞プレートの費用(設置を含む)および緑化助成工事に係わる消費税額を含む)。
- ③ 受賞者は、(公社)2027年国際園芸博覧会協会と直接、対象地でのガーデンの制作、施工・維持管理等に関する契約を締結し、(公社)2027年国際園芸博覧会協会が定める包括賠償責任保険に加入する。
- ④ 緑化助成工事の過程でプランの変更が生じた場合には、事前に(公財)都市緑化機構と受賞者は協議を行う。ただし、変更の範囲は軽微なものとし、当初のプランの主旨を外れず、契約金額に変更のないものとする。
- ⑤ 受賞者は、竣工検査を行う。ただし、必要に応じて(公財)都市緑化機構が立ち会うことがある。
- ⑥ 受賞者は、竣工検査完了後、検査合格書等の竣工を確認できる資料の写し、竣工写真、および助成金支払い申請書を(公財)都市緑化機構へ提出する。
- ⑦ (公財)都市緑化機構は、工事の完了を確認後、助成金支払い申請書に基づき指定の振込口座へ助成金(工事費及び維持管理費)を支払う。
なお、助成金の受取人(振込先)は、原則「代表者」とする。ただし、原則から外れる場合には、(公財)都市緑化機構と協議する。
- ⑧ 助成対象のプランと助成対象外工事を一括して発注する場合、実施設計図書を(公財)都市緑化機構に送付する際に、緑化助成対象工事と緑化助成対象外工事を実施設計図書で明確に区分するとともに、それぞれの工事の直接工事費、諸経費等が

わかる一覧を添付すること。

- ⑨ 受賞者は、展示期間中、博覧会来場者に最初の感動を届ける空間としてふさわしい良好な状態を維持すること。
- ⑩ 受賞者は博覧会閉幕後、2027年12月10日までに展示物を撤去すること。
- ⑪ 受賞者は事業完了後、精算報告書を（公財）都市緑化機構に提出すること。



主催：公益財団法人都市緑化機構／一般財団法人第一生命財団

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

後援：国土交通省／環境省／全国知事会／全国市長会／全国町村会／

第一生命保険株式会社

協力：一般社団法人建設広報協会／一般社団法人日本公園緑地協会／

一般社団法人日本造園建設業協会／都市緑化基金等連絡協議会／

株式会社産業経済新聞社